今、注目しておきたい KATO の Nゲージ製品シリーズ ①

「スーパーあずさ」 去就が気になる中央線のエース E351系

E351系は、制御つき自然振り子装置を採用し、最高速度130km/h、新宿-松本間を2時間25分で結ぶ特急「スーパーあずさ」として平成5年（1993）12月から、中央本線（東線）で運転を開始しました。永く中央線特急列車のエースとして活躍してきましたが、後継車E353系の就役を平成29年（2017）末に控え、来春の去就が話題となっています。

リニューアル発売のこの機会を、お見逃しなく！

2月発売

KATO E351系スーパーあずさの特徴

- 近年の姿である**強化形スカート**（2種）を新規製作、採用。
- クハE351-100/E350-100に、**ライトカバー**を新規製作、採用。
- クハE351-0/クハE350-0のダミーカプラーを**連結器カバー**付きに変更。
- クハE351-0/クハE350-0 用には、**交換可能なプラスティック製ヘッドマークパーツ**を新規製作、採用。「スーパーあずさ」を 標準装備、「AZUSA（ローマ字）」「スーパーあずさ（列車番号入り）」「中央 ライナー」が付属。
- **車番**（編成）を新規設定。
- **行先表示シール**を新規製作。

JR東日本の車両で、初めて形式名に「E」が付けられたのは、このE351系からです。

スーパーあずさ1号（1M） 松本行 停車駅